

# 高齢者虐待防止のための指針

医療法人 芙蓉会 南草津病院

訪問リハビリテーション

# 高齢者虐待防止のための指針

医療法人芙蓉会 南草津病院  
訪問リハビリテーション

## 1 高齢者虐待防止に関する基本的考え方

当事業所では、利用者への虐待は、人権侵害であり、犯罪行為であると認識し、高齢者虐待防止法に基づき、高齢者虐待の禁止、予防及び早期発見を徹底するため、本指針を策定し、全ての職員は本指針に従い、業務にあたることとします。またいかに該当する次の行為のいずれも行いません。

- i 身体的虐待：高齢者の身体に外傷が生じ、また生じるおそれのある暴行を加えること。
- ii 介護、世話の放棄、放任：高齢者を衰弱させるような著しい減食または長時間の放置その他の高齢者を養護すべき職務上の義務を著しく怠ること。
- iii 心理的虐待：高齢者に対する著しい暴言または著しく拒絶的な対応その他の高齢者に著しい心理的外傷を与える行動を行う事。
- iv 性的虐待：高齢者にわいせつな行為をすることまたは高齢者にわいせつな行為をさせること。
- v 経済的虐待：高齢者の財産を不当に処分することその他高齢者からの不当に財産上の利益を得ること。

## 2 高齢者虐待防止委員会その他施設内の組織に関する事項

当事業所では、虐待等の発生の防止等に取り組むにあたり「高齢者虐待防止委員会」を看護部認知症対応向上委員会に属する身体拘束最小化チーム内に設置することとします。

### ①設置の目的

虐待等の発生の防止・早期発見に加え、虐待等が発生した場合はその再発を確実に防止するための対策を検討するとともに、虐待防止に関する措置を適切に実施することを目的とします。

②高齢者虐待防止委員会の構成委員は身体拘束最小化チームの構成員に準じます。

### ③高齢者虐待防止委員会の開催

虐待事案発生時等、必要な際は、随時委員会を開催します。また、定期開催分につい

ては、身体拘束最小化チームとの共催とします。

また、同一法人の介護老人保健施設 ケアタウン南草津の高齢者虐待防止委員会に当事業所の担当者が参加します。

会議の開催にあたっては、テレビ会議システムを使用する場合があります。

#### ④高齢者虐待防止委員会の役割

ア) 虐待に対する基本理念、行動規範等及び職員への周知に関すること

イ) 虐待防止のための指針、マニュアル等の整備に関すること

ウ) 職員の人権意識を高めるための研修計画に関すること

エ) 虐待予防、早期発見に向けた取組に関すること

オ) 虐待が発生した場合の対応に関すること

カ) 虐待の原因分析と再発防止策に関すること

#### ⑤高齢者虐待防止の担当者の選任

高齢者虐待防止の担当者は、訪問リハビリテーション事業所の管理者とします。

### 3 高齢者虐待防止のための職員研修に関する基本方針

職員に対する権利擁護及び高齢者虐待防止のための研修は、基礎的内容等の適切な知識を普及・啓発するものであるとともに、権利擁護及び虐待防止を徹底する内容とし、以下のとおり実施します。

①定期的な研修の実施（年1回以上）

②新任職員への研修の実施

③その他必要な教育・研修の実施

④実施した研修についての実施内容（研修資料）及び出席者の記録と保管

### 4 虐待等が発生した場合の対応方法に関する基本方針

①虐待等が発生した場合は、速やかに市町村に報告するとともに、その要因の速やかな除去に努めます。客観的な事実確認の結果、虐待者が職員であった場合は、役職位等の如何を問わず、厳正に対処します。

②緊急性の高い事案の場合は、行政機関及び警察等の協力を仰ぎ、被虐待者の権利と生命の保全を最優先します。

### 5 虐待等が発生した場合の相談報告体制

①利用者、利用者家族、職員等から虐待の通報を受けた場合は、本指針に従って対応することとします。相談窓口は、2⑤で定められた高齢者虐待防止担当者とします。

②事業所内で虐待等が疑われる場合は、高齢者虐待防止担当者に報告し、速やかな解決につなげるよう努めます。

③事業所内における高齢者虐待は、外部から把握しにくいことが特徴であることを認識

し、職員は日頃から虐待の早期発見に努めるとともに、高齢者虐待防止委員会及び担当者は職員に対し早期発見に努めるよう促します。

- ④事業所内において虐待が疑われる事案が発生した場合は、速やかに高齢者虐待防止委員会を開催し、事実関係を確認するとともに、必要に応じて関係機関に通報します。

## 6 成年後見制度の利用支援

利用者及びその家族に対して、利用可能な権利擁護事業等の情報を提供し、必要に応じて、行政機関等の関係窓口、身元引受人等と連携のうえ、成年後見制度の利用を支援します。

## 7 虐待等に係る苦情解決方法

- ①虐待等の苦情相談については、苦情受付担当者は受け付けた内容を管理者に報告します。
- ②苦情相談窓口で受け付けた内容は、個人情報の取扱いに留意し、相談者に不利益が生じないよう細心の注意を払って対処します。
- ③対応の結果は相談者にも報告します。

## 8 当指針の閲覧について

当指針は、職員等が本指針を自由に閲覧できる場所に設置するとともに、当事業所のホームページ上に公表し、いつでも利用者及びその家族や関係者等が自由に閲覧できるように配慮する。

## 9 その他

権利擁護及び高齢者虐待防止等のための内部研修のほか、外部研修にも積極的に参加し、入居者の権利擁護とサービスの質の向上を目指すよう努めます。

付則

2024年6月1日より施行